

この度はJTC工具を御買上頂きまして、誠に有難うございます。  
本製品をより安全・適切にお使いいただくために この取扱い説明書をお読みください。  
取扱い説明及び表示の注意事項や使用方法は十分に理解した上で正しくお使い下さい。  
この取扱説明書はお手元に大切に保管ください。

#### ● はじめに

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書を読み、注意事項、使用方法を十分にご理解頂いた上で正しくご使用下さい。又、本製品は間違った使い方をされると、人的障害や物的障害が生じる他重大な事故に発展する恐れがあります。



#### 警 告

- 本製品は自動車整備士資格を有する方がご使用下さい。自動車整備士資格をお持ちでない方は使用しないで下さい。
- 修理技術者以外の方は本製品の分解、修理、改造を行わないで下さい。
- 作業方法は整備書等を確認しよく理解して下さい。作業方法が不明な場合は使用しないで下さい。
- 本製品はディーゼルエンジン用噴射ノズルの噴射開弁圧の測定、油密テスト、噴射角度、霧化状態の目視点検ができます。本来の用途以外では使用しないで下さい。
- 誤った使用方法により生じた、商品破損、人体または物品への損害、その他のいかなる損害に関しても当社では一切の保証、並びに責務を負いかねますのでご了承ください。
- 使用前に各部に異常がないかよく点検して下さい。点検を怠ると本体の損傷、破損、ケガをする恐れや事故の原因になります。
- 本製品に異常を感じた場合は、速やかに使用を中止し、お買い求めの販売店、または当社までお問い合わせ下さい。
- 本製品を安全に使用する為、使用環境に合わせて、安全手袋、耳栓、安全帽、作業着等の保護具を着用して下さい。



#### 注 意

※火気厳禁 周囲に火気がないことを確認してから作業して下さい。

燃料に引火し、火災につながる恐れがあります。

- 本製品はディーゼルエンジン専用です。
- 本製品ご使用時、回転するプーリーやファンに手や指、ホース類を挟まないよう十分注意して下さい。
- 本製品ご使用時、燃料が噴出する場合がありますので、火気のある場所では使用しないで下さい。
- パイプアダプターを本体に接続する場合、工具類を使用せずに手回しで行って下さい。
- 精密機器の為、落下させたり乱暴に扱わないでください。
- この取扱説明書、車輛の「サービスマニュアル」をよく読んでから使用してください。
- 始業点検は、取扱説明書に従って必ず行う様にしてください。
- 測定中、測定器に異常がみられる場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 本製品をディーゼルエンジン車のノズルテスト以外に使用しないでください。

## ●仕様

	適応メーカー(参考)	ネジサイズ/シールタイプ	全長
NO.1	イズズ	メスネジ M14×1.5/ オスシール	215mm
NO.2	トヨタ 日野 マツダ 三菱 クボタ	メスネジ M12×1.5/ オスシール	215mm

## ●名称



## ●使用方法、使用上の注意

使用前に必ず点検を行ってください。

1. 各部の接続部分に緩みやガタルキ等がないか確認してください。
2. ジョイント接続ナット及びパイプアダプターのネジ山、シール面に破損がないか確認してください。
3. ノズルテスターが作業台にきちんと固定されているか確認してください。

### 【測定準備】

- ①検査するノズルホルダーに適合するパイプアダプターをノズルテスターに取り付けます。
- ②タンクの中に燃料が入っているか確認してください。  
※燃料は清浄な軽油を使用してください。
- ③ハンドレバーを上下に動かしてエア抜きを行います。
- ④ノズルホルダーを取り付ける前にハンドレバーを操作してパイプアダプターより燃料を排出させてください。内部にエアやゴミがあると正確な測定値が得られない為、必ず接続部のエア及びゴミは取り除いてください。
- ⑤ノズルホルダーを綺麗に洗浄し、ノズルテスターのパイプアダプターにノズルが垂直になるよう接続します。

## 【測定方法】

### 噴射開始圧力測定

- ①ハンドレバーを数回強く操作し、内部のエアを追いつすと共に、ノズルのニードルバルブを安定した状態にします。
- ②ゆっくりハンドレバーを押し下げながら噴射開始圧力を測定します。  
※噴射中はメーターの針は振動していますが、この時の最初の圧力降下点の圧力が噴射開始圧力となります。
- ③もし規定圧力ではない場合、サービスマニュアルに基づき正しく調整してください。

### 噴射状態の点検

ハンドレバーを操作し燃料を噴射しながら噴射状態を目視点検します。

※操作の回数はノズルによって異なります。それぞれのノズルのサービスマニュアルを参照してください。

#### 1：噴霧角度の点検

ノズルの中心線を中心とし規格どりの角度で綺麗な円錐状に噴射されているか点検します。

#### 2：霧化の良否点検

粒状の燃料が混じらず、微細な霧状になっているか点検します。

#### 3：後だれ

噴射終了後、ノズル先端に燃料がたまらない事を点検します。

### 油密点検

噴射開弁圧が 30MPa になるように調整した上で 25MPa の圧力をかけたまま保ち、漏れがないか点検します。また、25MPa から 20MPa まで下がるのに 6～8 秒以上かかればそのノズルは良好と判断することができます。

※測定終了後ノズルの取り外しの際、少し緩め内部の残圧を徐々に抜いてから取り外してください。

急激に取り外すと急激な圧力低下によりメーターが故障する恐れがあります。



ここでの測定方法及び数値は一般的な例です。

ノズルによって異なりますので、必ずサービスマニュアルに基づいて測定を行ってください。

## ●その他の注意事項

1. 測定方法を熟知した方以外のご使用は控えてください。
2. 測定能力（圧力）を超える測定は危険ですのしないでください。
3. 測定器の改造は行わないでください。
4. 純正部品、純正アダプター以外は使用しないでください。
5. 自動車整備以外での目的で使用しないでください。
6. 測定基準、結果判定は測定車両の「サービスマニュアル」に準じてください。
7. 高圧で噴出している燃料（軽油）には絶対に手や体を当てないでください。
8. 長時間使用しない場合はタンク内の軽油を全て取り除いてからエンジンオイルを注入し、ハンドレバーを 4～5 回ほど操作しておいてください。  
※内部のピストンが錆びついて使用不能になる場合があります。